

三次町の歴史～頼 杏坪～



6月17日に元法政大学教授、往来物研究家の小泉吉永先生にお越しいただき、三次町の歴史に深く関わる人物「頼 杏坪」について特別授業をしていただきました。

三次町で活躍した「頼 杏坪」の話を聞いて、三次町への理解が深まりました。特に、運甕居については、学校の近くにはありましたが、何のために残されているのかを知らない児童が大半でした。今回の話を通して、すごく貴重で大切な建物だったことがわかったようでした。

「頼 杏坪」は、往来物（手紙のようなもの）に、自ら行動できる方法や考え方を記し、人々に伝えたり、奉行として真に平等な社会を目指したりした人物でした。誤魔化して、お金を農民たちからだまし取る役人が多かった時代で、彼のような考えに児童は、「このような考え方ができるようにしていきたい。」や「もう一度、運甕居に訪れたい。」などの感想を言っていました。

大変貴重なお話を聞いて、三次町のことを更に知ることができてよかったです。

